

2025年 大阪・関西万博

— 八尾市 —
リボンチャレンジ

みんなの想いを一つにする
展示企画中間発表会

※プログラムの進行について、ご案内時より一部変更しております。

0 ご挨拶	15:00
1 プロジェクト全体像	15:10
2 展示コンセプト・空間デザイン	15:20
3 個別展示企画報告	15:35
休憩	16:05
4 コメンテーター評論	16:10
5 プレス出席者からのご質問	16:30
6 リボンチャレンジスケジュール	16:40
7 質疑応答	16:50
8 交流会	17:00

クローズ!!!!

1 | プロジェクト全体像

<万博事業参加の目的>

“ものづくりのまち八尾”として、
市内の中小・スタートアップ企業振興



オープンファクトリーの推進

国内外から、ものづくりに興味を持つ人々が八尾の企業を訪れ、商談機会を創出する。

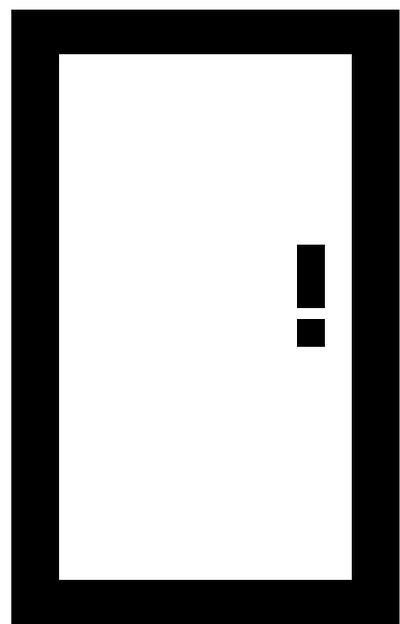
その結果、イノベーションが促進され、雇用が創出される素地をつくっていく。



万博機会・リボンチャレンジへの参加でこの流れを加速させる！

万博を契機に、またその後もさらに、
世界中の人々が八尾の町工場にきて、イノベーションを起こしてくために、産業スローガンを策定しました。

ひらく、ひらく、世界に向けて、ひらく。



**OPEN
FACTORY
CITY YAO**

産業スローガン「OPENFACTORY CITY YAO」を体現するアクティベーションとして、

八尾を代表する13社との共創による万博企画を実施します。

万博をきっかけに、ひとりでも多くの方が八尾の企業・町工場へ来訪することを狙います。



万博展示企画のポイント

未来をつくる創造力を刺激すること

そもそも

ものづくりって面白い！と、興味・関心をもってもらうこと。



そこから

八尾の企業に興味を持ってもらうこと。

もっと見たい=現場に行きたいと思ってもらうこと。



できれば

八尾の企業と一緒にものづくりがしたいと思ってもらうこと。

お互いを、しること。



一緒に、考えること。



一緒に、行動すること。

つくりたくなる、30分。

とにかく さわる博

0.015mmの超極細の金網を、織る。

世界にたったひとつの黒を、つくる。

環境負荷ゼロに近い化粧品を、考える。

削らず無駄をなくす加工を、追求する。

やさしいひとてまを、カタチにする。

私たち八尾市には、多様なものづくりがあります。

そのものづくりにふれることで、楽しさに気づいてほしい。

できれば、好きになってほしい。

そして、幸福な未来を創造する、

“つくるの輪”がひろがってほしい。

そんなことを思いながら、八尾の企業13社で

企画した「とにかくさわる博」。

あっ！となるアイデア、

えー！となる素材、

おお！となる体験にさわりにきてください。

子どもの探究心から大人の創造力まで。未来につながる。

ものがつくりたくなる30分の「超刺激体験」をお楽しみください。

<展示企画の進め方>

実行委員会方式で13社が共創して企画を進行



会長

株式会社友安製作所
代表取締役社長
友安 啓則氏



副会長

錦城護謨株式会社
代表取締役社長
太田 泰造氏



副会長

株式会社八尾金網製作所
代表取締役社長
山上 昌宏氏



監査

株式会社ミナミダ
代表取締役社長
南田 剛志氏

2 | 展示コンセプト・空間デザイン

伝統

I TRADITION

素材

I MATERIAL

着想

I IDEA

視点

I PERSPECTIVE

現状区分け構想

体験

I WorkShop

オンライン

工場見学

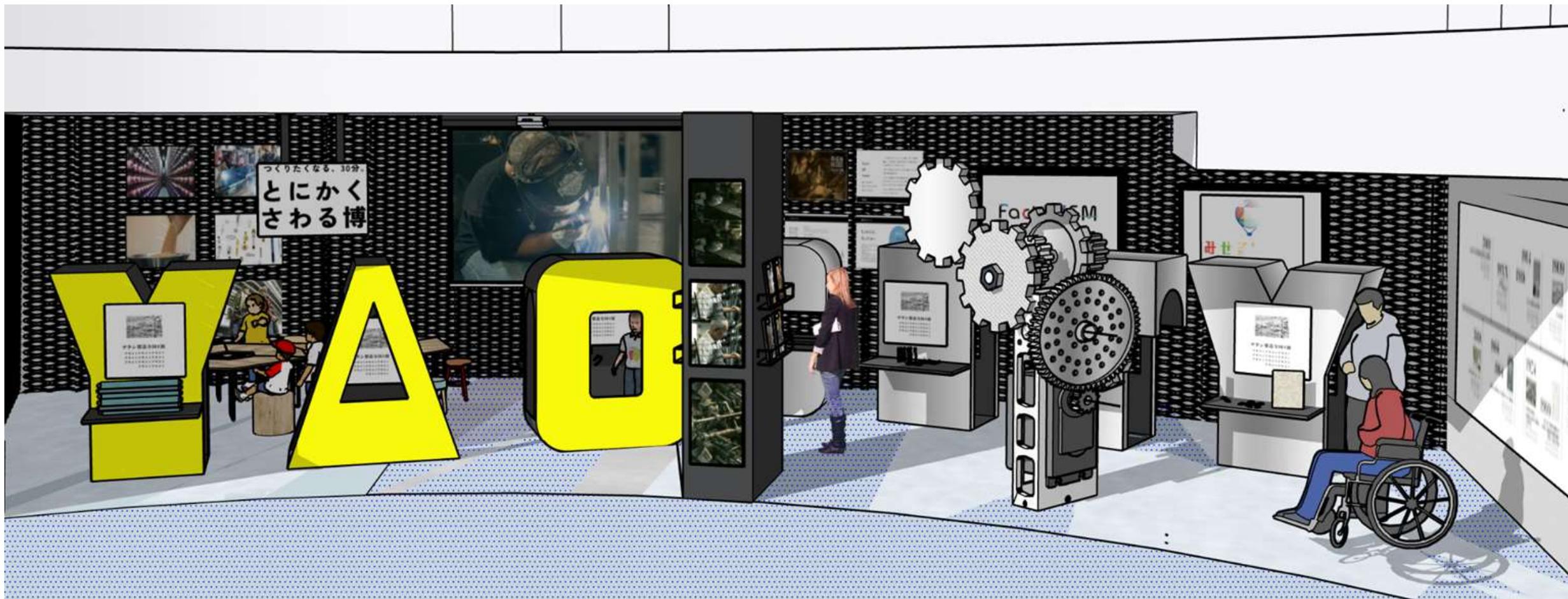
I OpenFactory

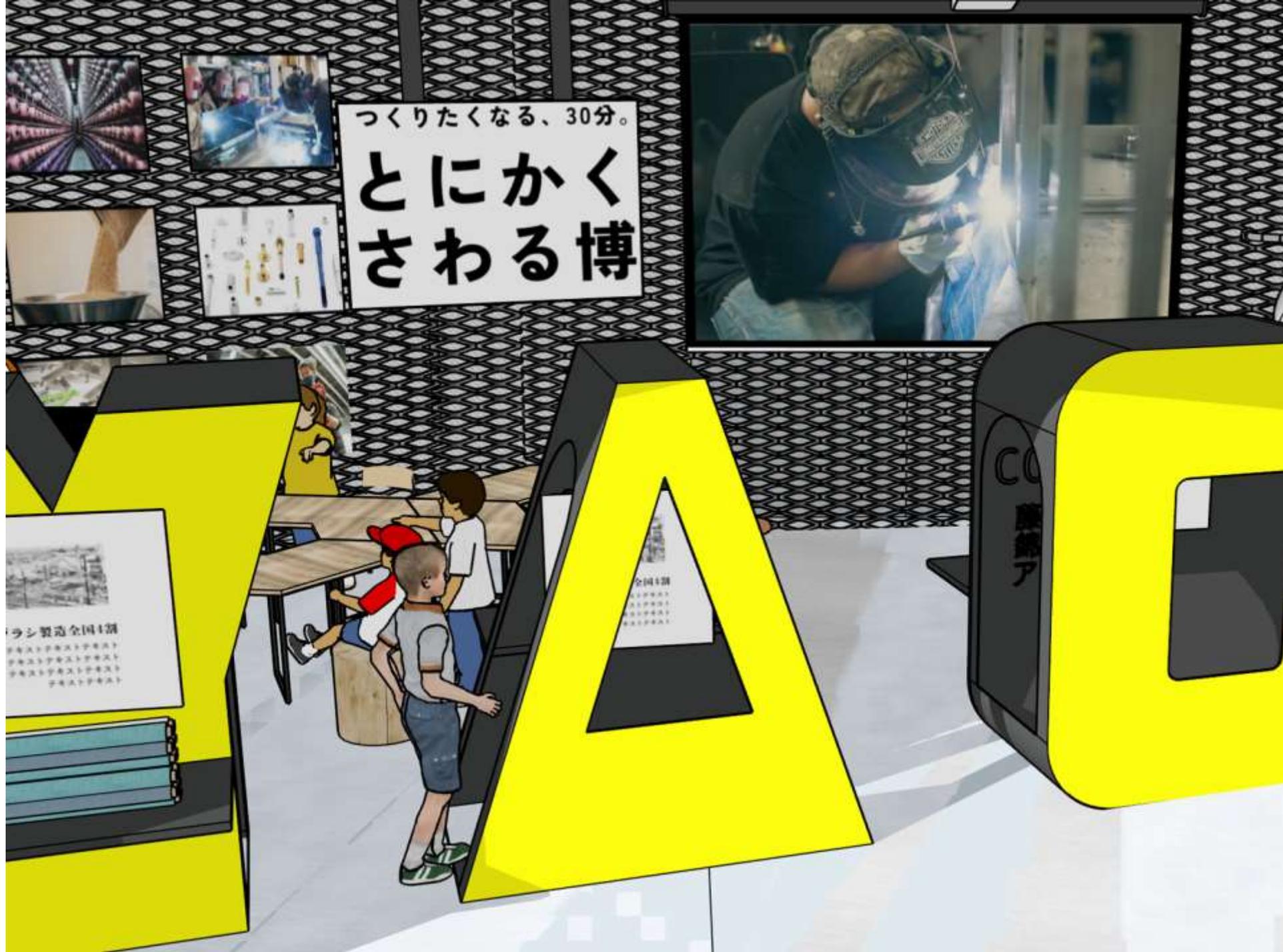
メッセージ

I ART

来訪者との**共創**

I CO-CREATION







2001

19XX

1918

1914

1909

プラレポ記念品
1914
1918
1924
1910

1955
1964

1955

1964

1924

1910

189



いのちをつなぐ展示

いのちをつなぐ。

サステイナブルな循環型社会を実現するために、われわれつくる人々が道具をつかう人々に投げかけるメッセージ展。展示物が新たな製品として再生される、すてるものが展示空間によみがえるなど、つくられたもののいのちを次につないでいくことで、大阪の八尾をという土地で脈々と受け継がれてきたものづくりの文化をつなぎ、想いを後世につないでいく。まちごとサーキュラーエコノミーの確立に向け、新たな挑戦を行うものづくり企業の鼓動を表現。

いのち輝くという大阪・関西万博のメインテーマのその先の2025NEXTにおける地域産業の歩むべき絵姿を考え、地域共創のもと、新たなものづくりの時代を切り拓いていく。



3 | 個別展示企画報告

出展候補企業	現状区分け構想	目指す展示
株式会社アーテック	着想 メッセージ	八尾で生まれて世界中のロボット・プログラミング教育で子供に課題解決力を育ててきた「アーテックロボ」。 八尾の町工場と地域の学生の力でモノづくりの課題を解決できる新たな価値として「職人お助けロボット」へのリボーンを目指したいです。
アベル株式会社	素材 オンライン工場見学 メッセージ	ステンレスの表面処理技術に特化し技術開発を重ねてきたアベル株式会社が、ステンレスのリアルな質感を残したまま豊かな黒に発色する「アベルブラック」という技術を開発。 アベルブラックが意匠性・機能性として今どのようなところで使われ、また、今後も黒を追求することで、世の中の役に立つ製品を生み出す期待感を発信したいです。
株式会社ウエダ美粧堂	素材 メッセージ	SDGsの観点から天然毛の使用は世界的な課題となっています。ウエダ美粧堂は、毛筆作りからつながる職人の技術をいかし、かぎりなく動物毛に近い人工毛をつくることに挑戦しています。その挑戦の成果を展示し、職人技術の素晴らしさを再確認できる機会にしたいと思います。
カネエム工業株式会社	体験 オンライン工場見学 メッセージ	アパレルのボタン作りをメインにするカネエム工業。数千種類のボタンを作り出す技術を存分に活用し、「ボタンと短冊をくっつけたフォーチュンボタン」を作る体験を。展示会場に設置された「みくじ掛け」に掛けることでフォトスポットとして広く拡散を狙います。
木村石鹸工業株式会社	視点 体験 オンライン工場見学 メッセージ	これまで100年にわたり洗剤や化粧品を手がけてきた木村石鹸が、プラスチック容器を使わない「粉」を使ったモックアップ製品を作り、あえて昔の知恵をヒントにして未来の暮らし方の提案ができる展示を目指します。
錦城護謨株式会社	着想 オンライン工場見学 メッセージ	日常のあたり前と思っている事を変えたい。不可能を可能に、無いものを生み出していきます。 ゴムの力で日常生活から未来に向け支えていくことを伝えていきたいです。

出展候補企業	現状区分け構想	目指す展示
有限会社大一創芸	伝統 メッセージ	かつて、地の特産で農薬を使わず栽培していた河内木綿を復活。それを活用した袱紗を通して、袱紗をはじめとした日本本来の伝統や、八尾に息づいていた河内木綿などの伝統自体が次代に受け継がれていくような世界のための展示を目指します。
藤田金属株式会社	着想 オンライン工場見学 メッセージ	困っている人をサポートしたり。人の絆を深めたり。クスッと笑えたり。構想と妄想プロダクト展示をつうじ、未来を幸福にできる鉄フライパンの可能性を提示します。
株式会社マックス	視点 体験 メッセージ	100年以上、固形石けんを作り続けた独自の“固形化技術”を応用して、液体のシャンプーやコンディショナー、スキンケア商品も固形化し、ボトルレスで脱プラスチックによる、海洋プラスチックごみ問題の解決の一助を目指します。
株式会社ミナミダ	体験 オンライン工場見学 メッセージ	八尾の地場産業であり、資源のない日本であるからこそ発展した冷間鍛造を、ひとりでも多くの方々に知ってもらいたい。削らない加工法である冷間鍛造のノウハウを活かして省資源・エコな製造が当たり前にしていきたいと考えています。
株式会社八尾金網製作所	素材 メッセージ	まるで布生地のような「極細線織金網」の手触り、細かすぎる海洋ごみもフィルタリングする機能性、そして、細かい金属の糸を織り込む職人技をプレゼンテーションし、見る人に驚きや感動を提供します。ひとりでも多く、次代の担い手となる若い人からの興味関心を獲得したいと考えます。
ヤマトエスロン株式会社	伝統 メッセージ	八尾の伝統産業である歯ブラシを広く認知・発展を目指し展示を計画。暮らしの中に根付いているからこそ、見落としがち歯ブラシの歴史を振り返りながら、これからの「未来の歯ブラシ像」の模索にも挑戦し、オーラルケアが普及する世界の一端を示します。

6 | リボーンチャレンジスケジュール

■今後のスケジュール

